鹿野まちづくり計画

四季薫るまち鹿野

花あふれる歴史と文化のまち

鹿野まち普請の会

平成22年3月

目　　次

1　鹿野まちづくり計画策定の目的と経過 2
（１）計画の趣旨 2
（２）計画の役割 2
（３）計画の期間 2
（４）鹿野地区の現状と課題 3
①鹿野地区の世帯の状況 3
②鹿野地区の現状 3
③鹿野地区の課題 3
④「鹿野地区まちづくりアンケート」から見えた課題 4
2　鹿野まちづくり計画の基本理念 5
3　鹿野まちづくり計画推進体制 6
4　基本目標１　「歴史、文化を大切にするまち」 7
○ 風情ある街並みへの整備、改善活動の取り組み 7
○ 城跡公園の清掃、管理の取り組み 8
○ 伝統文化の継承と新しい文化の創造の取り組み 9
基本目標２　「花あふれる美しいまち」 10
○ 四季折々の花づくり推進の取り組み 10
○ 鹿野景観づくり・維持、活用の取り組み 10
基本目標３　「人にやさしいまち」 11
○ 集落における福祉活動の取り組み 11
○ こころ豊かな子どもを育てる家庭づくりの取り組み 11
基本目標４　「環境にやさしいまち」 12
○ 農地・山林・河川の荒廃防止の取り組み 12
○ エコ活動の取り組み 13
基本目標５　「健康で笑顔あふれるまち」 14
○ あいさつ運動の取り組み 14
○ 健康づくりの取り組み 14
基本目標６　「安全・安心なまち」 15
○ 交通安全対策の取り組み 15
○ 防災・防犯対策の取り組み 15
○ 子どもや高齢者にやさしいまちづくりの取り組み 16

１　鹿野まちづくり計画策定の目的と経過

鹿野地区は豊かな自然と、亀井家４万３千石の城下町として栄えた歴史と文化、人情豊かな地区です。四季折々の薫りが豊かに漂う“四季薫るまち鹿野”を基本理念として、行政と地区住民そして多くのまちづくり団体が一緒になって活動し、他町に誇れるまちづくりを進めて来ました。

特に、８町内では１４年前から「祭りの似合うまちづくり」を目指して、城下町を生かした街並み環境整備に取り組み、住民の皆さんが地域に、より自信と誇りを持って生活できる、特色あるまちづくりに積極的に取組まれているところです。

一方、地区内には「人口の減少」「高齢者世帯の増加」「農地･山林･河川の荒廃進行」「空き家・空き地の増加」「防災・安全・安心対策の必要性」など多くの課題をかかえています。

これらの課題解決のため、平成２１年３月１日に「鹿野まち普請の会」が設立され、中学生以上を対象とした「まちづくりアンケート(976 人/回答率約 70%)」を実施しながら、まちづくりの指針となる「鹿野まちづくり計画」を策定し、計画を地区住民･団体･行政が共有しながら協働の精神の基に、住みよい、こころ豊かに暮らせるまちづくりを進めていくものです。

（１）計画の趣旨

鹿野地区民みんなの力で、地区内の緑豊かな自然環境、歴史ある伝統文化を守り、また、新しく創造しながら、地区民が健康で安全・安心な地域づくりを目指し、自治公民館活動を始め、多くのまちづくり団体が連携し、一体感のある他の地域に誇れる、大人も子ども達も住み続けたい、訪れた人々がまた訪れたいと思える、そんなまちづくりを進めるため、課題解決に向けて一丸となって取り組む活動目標を定めたものであり、鹿野地区におけるまちづくりの基本となるものです。

（２）計画の役割

鹿野まちづくり計画は、次のような役割を持っています。

- ○　**鹿野地区の現状、課題、将来の目標を住民が共有する役割。**
- ○　**住民と行政の協働による取り組みを明らかにする役割。**
- ○　**将来の目標達成に向けての、取り組みを明らかにする役割。**

（３）計画の期間

鹿野まちづくり計画は、概ね１０年間とし、３年毎に見直しを行っていきます。

（4）鹿野地区の現状と課題

①　鹿野地区の世帯の状況

	平成 21 年	令和元年		平成 21 年	令和元年
世帯数	578 戸	483 戸	高齢者数 (65 歳以上)	男　218 人 女　325 人 計　543 人	男　206 人 女　272 人 計　478 人
人　口	男　894 人 女 1,008 人 計 1,902 人	男　681 人 女　734 人 計 1,415 人	14 歳以下 人口数	男　111 人 女　115 人 計　226 人	男　64 人 女　64 人 計　128 人

②　鹿野地区の現状

鹿野地区は、街並み環境整備事業への取り組みを契機に、人々のまちづくりに対する意識の向上が見られ、NPO いんしゅう鹿野まちづくり協議会を始めとしたまちづくり団体が多数生まれ、イベント開催・講演会を始めとした特色ある活発な取り組みがなされ、町外から訪れる人も年々増加傾向にあります。地区内に生活する人々がこころ豊かに安心して暮らせるまちづくりを目指して、今後とも住民一人一人が地域づくり・まちづくりに関心を持ち、一体感を持ちながら取り組んでいくことが必要です。

③　鹿野地区の課題

鹿野地区には少子高齢化・人口問題を始め多くの課題があります。

○ 近年は、少子高齢化社会の進展とともに人口の減少が進み、色々な場面で影響が出ており、人口移入を含めた人口増加対策が必要です。

○ 経済事情の変化もあり、就労の場が減少しており、就労の場の創設・確保対策が必要です。

○ 城下町としての風情、日本の原風景である農村風景を守り･育てる取り組みが今後とも必要です。

○ 伝統文化の伝承、新しい文化の創造を合わせ育てる活動が今後より一層必要です。

○ 農業従事者の高齢化、後継者不足が進んでおり、集落機能の減退防止を図るため、集落営農等の推進が必要です。

○ 山林・河川の荒廃が進み、災害の発生も心配される状況にあります。

○ 近年の災害発生状況からも、住民の安全･安心対策計画の策定･実践が必要です。

○ 児童･生徒の安全確保、高齢者の犯罪被害防止等の住民活動が必要です。

○ 地区内まちづくり団体と自治会活動との連携・調整を図ることにより、地区内全体の活性化を図ることが必要です。

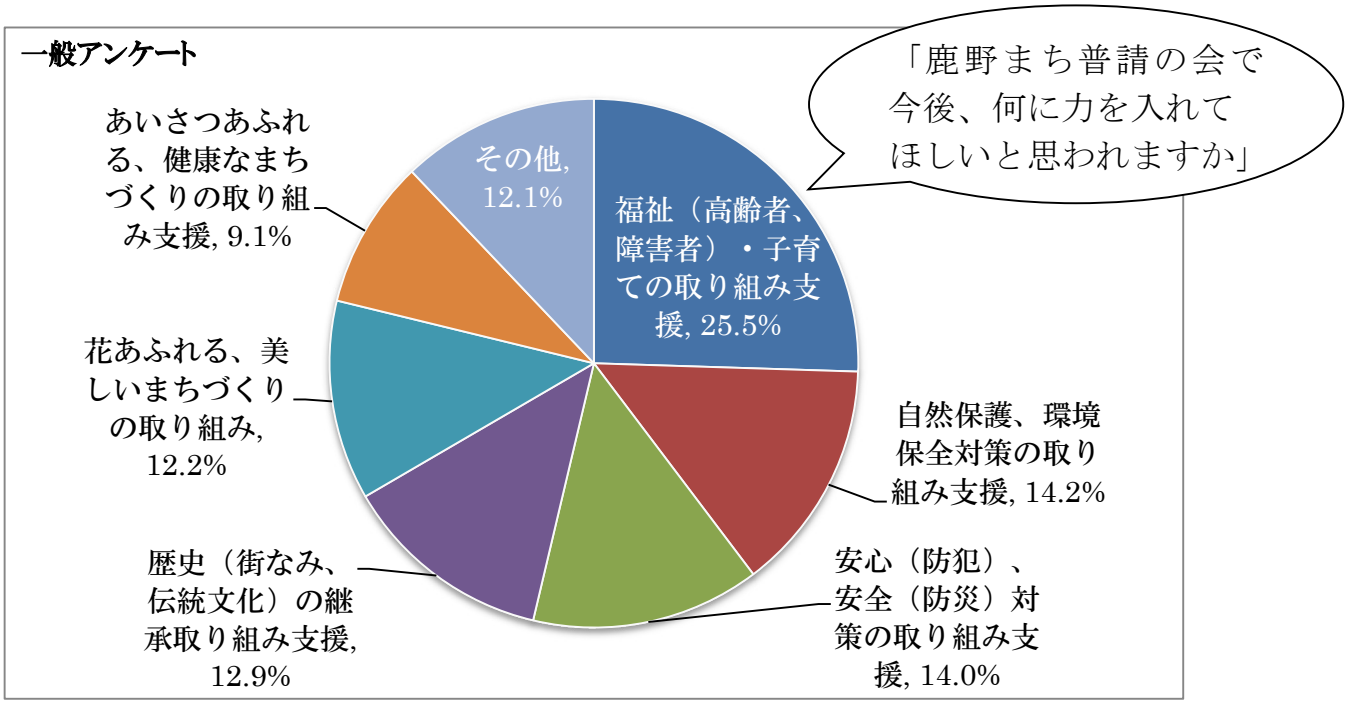
④「鹿野地区まちづくりアンケート」から見えた課題

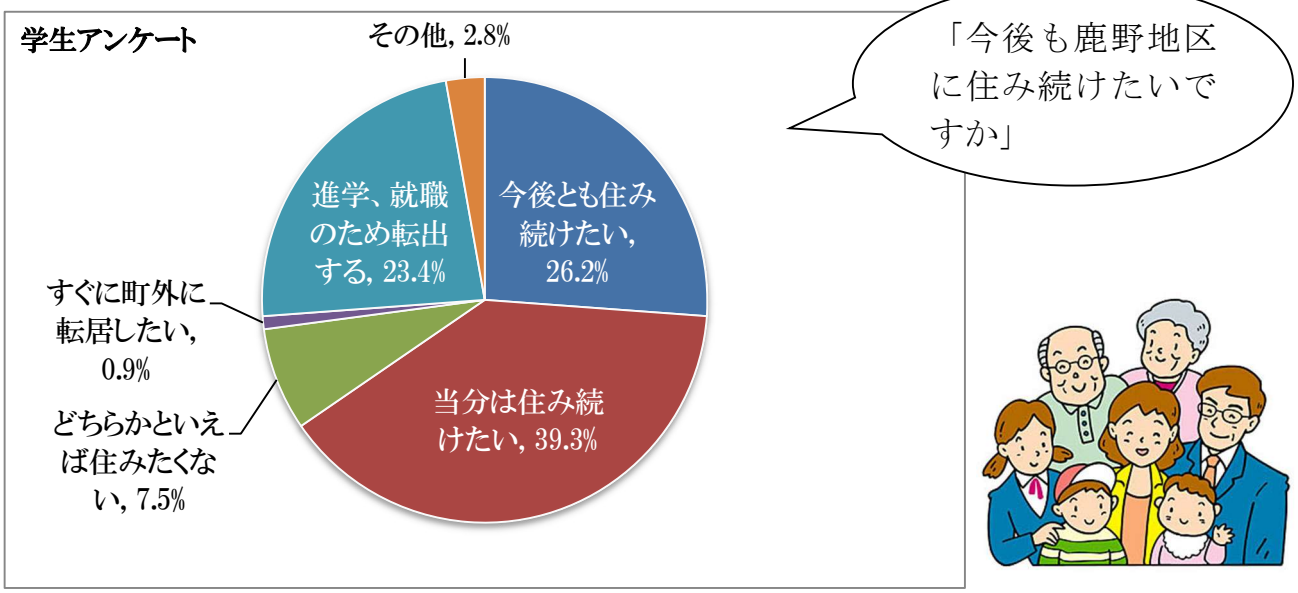
鹿野まち普請の会で今後、何に力をいれて欲しいと思われますか

- 福祉（高齢者、障害者）・子育ての取り組み支援　25.5%
- 自然保護、環境保全対策の取り組み支援　14.2%
- 安全（防災）、安心（防犯）対策の取り組み支援　14.0%
- 歴史（街並み、伝統文化）の継承取り組み支援　12.9%
- 花あふれる、美しいまちづくりの取り組み　12.2%
- あいさつあふれる、健康なまちづくりの取り組み支援　9.1%

以上の結果を参考にしながら 6 項目にまとめ、取り組む計画としました。

特に、学生、生徒アンケート結果において、鹿野に対する愛着度 84.1%、進学、就職し鹿野を離れた後また戻りたい 66.3%の思いを大切にして取り組む必要性を感じ作成しました。

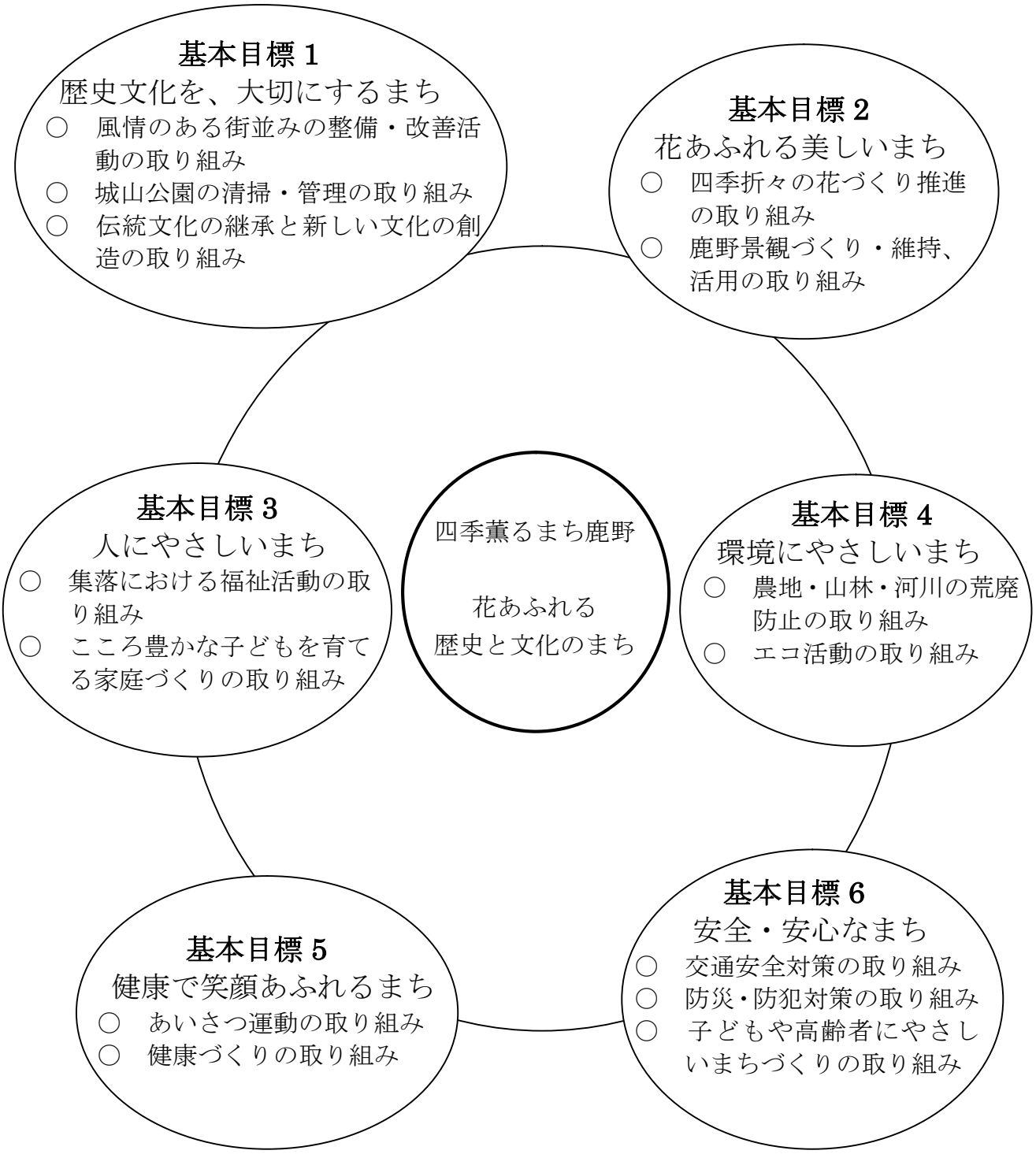




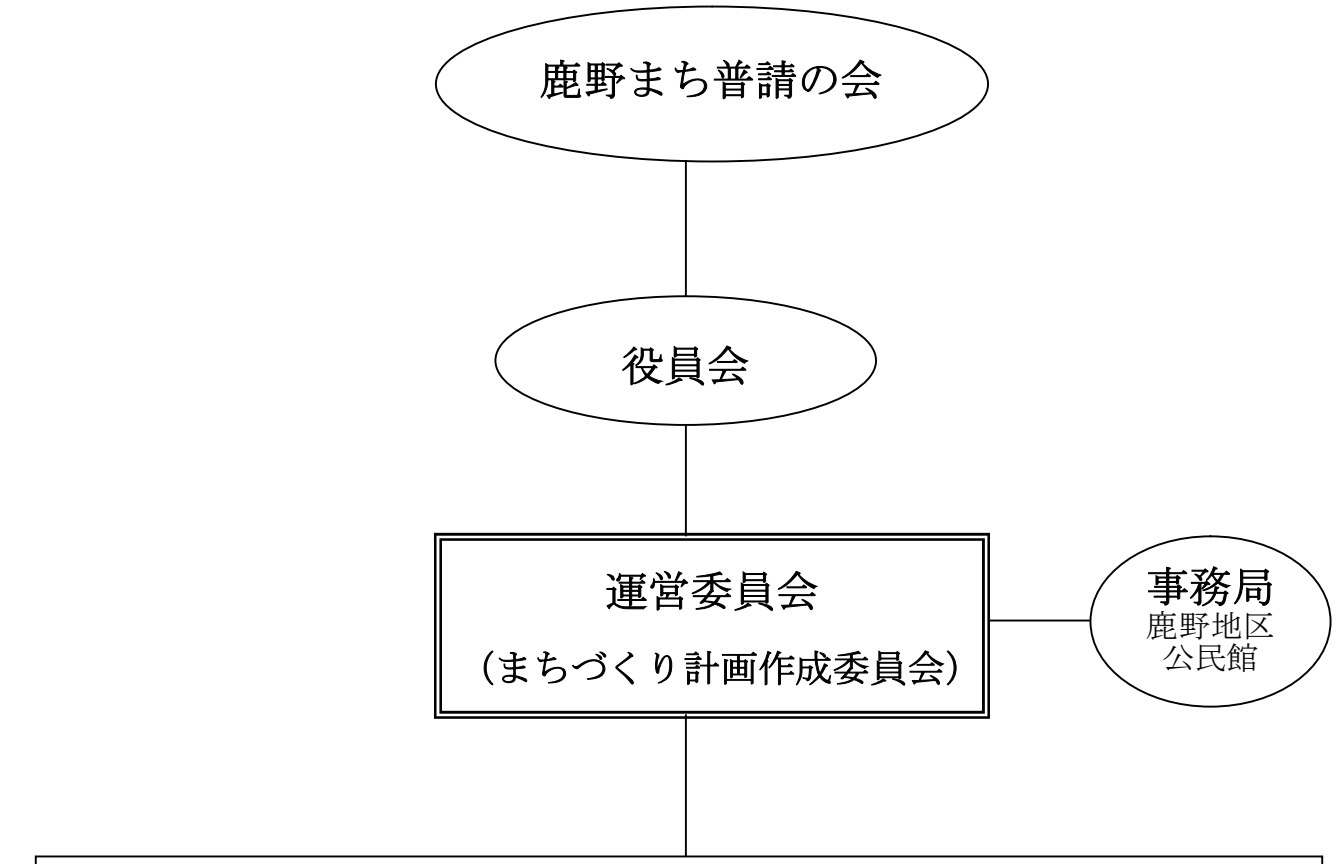
２　鹿野まちづくり計画の基本理念

～ こ ん な ま ち に し た い ～

四季薫るまち鹿野　（花あふれる歴史と文化のまち）



3　鹿野まちづくり計画推進体制



会　　員

○　自治会会員

鬼入道　自治会
二ツ家　自治会
法楽寺　自治会
閉　野　自治会
広　木　自治会
水　谷　自治会
紺屋町　自治会
ひまわり団地自治会
上　町　自治会
立　町　自治会
殿　町　自治会
下　町　自治会
加治町　自治会
新　町　自治会
山根町　自治会
大工町　自治会
南　川　自治会

○　まちづくり団体会員

鹿野町文化団体連絡協議会
城山まもりたい
土曜夜市実行委員会
蓮ウォーク実行委員会
街なみ協定運営委員会連合会
鹿野体育会
鷲峯山麓ハーフマラソン実行委員会
鹿野地区社会福祉協議会
ＮＰＯ法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会
ＮＰＯ法人鹿の助スポーツクラブ
鳥取市鹿野町赤十字奉仕団
特定非営利団体法人　鳥の劇場
こころのふるさとづくり委員会
鹿野地区老人クラブ
株式会社　ふるさと鹿野
鹿の名画座実行委員会
ＡＩＲ　ＳＨＩＫＡＮＯ（鹿野芸術祭）

基本目標　１「歴史、文化を大切にするまち」

鹿野地区は豊かな自然と亀井家４万３千石の城下町として栄えた、歴史と文化を大切にする地区です。特に平成８年度より「祭りの似合うまちづくり」をテーマに、城下町を生かした街並み整備の取り組みと合わせて、自然景観の豊かな農村地帯の「日本の原風景」を守り育てることにより、住民が誇りと自信をもってこころ豊かに生活できるまちづくりを目指していきます。

◇特に力点をおく重点事業◇

○ 風情ある街並みへの整備、改善活動の取り組み

「祭りの似合うまちづくり」をメインテーマとし、永年行政と住民による協働のまちづくりに取り組まれ、住民が「わがまち鹿野」に誇りを持ち、こころ豊かに生活できるまちづくりを進めて来ており、今後も継続して取り組むことが大切です。

当面取組む計画	**〈街並みを生かしたイベント開催の取り組み〉** いんしゅう鹿野盆踊り、わったいな祭りの継続実施・拡充支援 虚無僧行脚・レトロ市の継続実施・拡充支援 蓮ウォークの継続実施・拡充支援 **〈水路の清掃、水量調整の取り組み〉** 地区内に流れる水路を綺麗に保ち、豊かな水量を確保し、水音が聞こえ、防災に強いまちづくりを進めることが大切です。 **〈孟宗竹プランター等修景づくりの取り組み〉** 四季を通して水路上に花が咲き、こころ豊かな生活が送れるまちづくりを進めることが大切です。 **〈街並み交流館の活用の取り組み〉** 新しく建築される鹿野往来交流館を活用し、まちづくり活動・集落間コミュニティのより活発化と新たな交流を進める取り組みを行いたい。あわせて、施設への愛着・利活用を高めるため「お祭広場」については、地域住民活動により鳥取方式芝の植栽管理を行う。 **〈空き家活用による活性化の取り組み〉** 町内に散在する空き家を利活用し、まちの活性化を図る取り組みを行なうことが大切です。
長期的に取組む計画・構想	祭りの似合うまちづくりを目指し、長期的に公的空間(道路・水路)の整備と合わせて、私的空間(個人住宅)等の整備を継続し、地域住民が誇りと自信を持って、こころ豊かに生活できるまちづくりを推進して行くことが大切です。

○ 城跡公園の清掃、管理の取り組み

鹿野地区住民の心のよりどころである鹿野城跡公園一円を、地区民一体となって整備、保全・管理を行なう取り組みを進めていきます。

当面取組む計画	**〈城跡公園の草刈･清掃活動の取り組み〉** 各集落および、ボランティアにより公園内、草刈り、草取り、清掃活動、樹木の植栽、剪定等の作業を行い、年間を通して地区住民が憩う、美しい公園づくりを進めていくことが必要です。 **〈コミュニティ施設の清掃活動の取り組み〉** 各集落当番順により、地区民いこいの広場である旧鹿野小学校の校庭草取り・剪定作業等を実施していくことが必要です。
長期的に取組む計画･構想	城跡公園、コミュニティ施設を、地区民が心のふるさと感覚で、美しく・心和む場として一体的に整備・管理を行なう取り組みを継続していくことが大切です。



鹿野城跡公園の自然と景観をまもろう
H21 年 11 月 8 日　活動イベント











歴史・文化を大切にするまち

○ 伝統文化の継承と新しい文化の創造の取り組み

鹿野地区には古くから大切に保存継承してきた、伝統芸能、行事、風習があり、これらの保存継承は我々に課された大きな役割です。

また、鹿野ふるさとミュージカルをはじめとする新しい文化も芽生え、定着しつつあり地区の文化的財産として育てていく役割もあります。

当面取組む計画	**〈亀井踊り･亀井太鼓の伝承活動支援〉** 小学生を対象とした亀井踊りクラブを組織し、子ども期から亀井踊になじませる取り組みを行い、伝承と後継者育成を図ることが必要です。 **〈鹿野祭りの伝承活動への協力〉** 鳥取県無形民俗文化財の指定を受けた鹿野祭り（城山神社祭礼行事）は、町内の若者を中心に守り伝えられてきたものであり、今後も各町内を中心とした取り組みにゆだねながら、伝承活動に側面的に協力していくことが大切です。 **〈ミュージカルの上演、支援活動〉** 鹿野ふるさと町民ミュージカルとして定着した新しい文化の向上と、継続上演に伴う人材育成の協力・支援が必要です。 **〈鳥の劇場の活動協力、支援活動〉** 新しく鹿野の文化活動の場として、育ちつつある鳥の劇場の活動に対して、場所の提供をはじめボランティアスタッフの募集協力・参加協力・支援を行なうことが大切です。 **〈文化活動の活性化への支援活動〉** 鹿野を中心的に、活発に活動している団体への協力・支援をして行く取り組みが大切です。
長期的に取組む計画・構想	城下町の特色でもある沢山の神社・仏閣との連携を深めながら、歴史・文化の学習・連携システムづくりが大切です。また、合併前の資料を含めて新･旧の文化財産を今後とも保存・記録・継承して行くためのシステムづくりを行う必要があります。 「芸術・芸能文化のまちづくり」を目指し、計画づくりに取組むことが必要です。





亀井踊り風景（津和野交流）

基本目標 2「花あふれる美しいまち」

鹿野地区では、四季折々に地区内に美しい花が咲き乱れ、住んでいる住民もまちを訪れた人々も心和む、美しいまちづくりを目指していきます。

◇特に力点をおく重点事業◇

○ 四季折々の花づくり推進の取り組み

地区内では、今日まで「四季薫るまち鹿野」づくりの一環として、城跡公園を中心に花のまちづくりに取り組み、開花期には多くの人々と美しさを愛でながらこころの安らぎを得てきましたが、今後も規模・美しさの向上を図りながら継続していく努力が大切です。

当面取組む計画	**〈四季折々の花づくりへの取り組み〉** **（春）桜** 城跡公園を中心に植栽された桜の更新植栽・管理を行なう。 **（夏）蓮** 蓮ウォークイベントの開催、蓮池づくり等の取り組みを行なう。 **（秋）コスモス･もみじ・ソバ** コスモス畑作り、城跡公園内もみじの管理、特産鹿野ソバの集団栽培田確保等の取り組みを行なう。 **（冬）椿** 城跡公園を中心に町の木であった椿の里づくりを行なう。
長期的に取組む計画･構想	蓮、ソバ等の実を活用した特産品作りを検討するシステムづくりが必要です。 彼岸花の咲く田園風景づくり等を行い、山間地の活性化に役立てる取り組みの検討も必要です。

○ 鹿野景観づくり・維持、活用の取り組み

城跡公園・県道沿線をはじめ地区全域的に、四季折々に花の咲く鹿野の風景づくりに努力し、皆がこころ豊かに暮らせる町、また、町内外の方々にも紹介し、交流人口増加の場づくりを進めることが必要です。

当面取組む計画	**〈イベントの開催の取り組み〉** 春・夏・秋に写真撮影･絵画スケッチイベント等を開催し、鹿野の風景を再認識・周知を図る取り組みが必要です。
長期的に取組む計画･構想	四季折々の鹿野らしさが醸し出される、風景づくりの検討を進めていくことが大切です。

基本目標 3「人にやさしいまち」

現代社会において、人に対するやさしさ、思いやりが不足しつつありますが、鹿野地区においては「まちづくりは人づくり、人づくりは教育から」の考え方に基づき、地域での人とのふれあいを通して人を育てる考えを大切にしていくことが、少子・高齢化した鹿野地区においても益々大切になってきています。

◇特に力点をおく重点事業◇

○ 集落における福祉活動の取り組み

鹿野地区全体取り組みとして、集落毎にふれあいサロンの開設・運営を主体に、地域の高齢者福祉を中心とした取り組み・努力をすることが大切です。

当面取組む計画	**〈集落福祉活動の取り組み〉** 地区内全集落に社会福祉協議会の支援等を受けながら、ふれあいサロンを開設し、高齢者相互の交流を深め、健康管理と心のケアに役立てる取り組みが必要です。 **〈高齢者見守り体制づくりの取り組み〉** 長寿社会においては、色々な病気・障がいを持った高齢者の増加が見込まれる中、家族だけでなく集落・地域として見守る体制をつくり、地域サポートすることが大切です。
長期的に取組む計画･構想	集落内における相互扶助意識をより一層高め、“共に生活・共に生きる”を理念とした取り組みが大切です。

○ こころ豊かな子どもを育てる家庭づくりの取り組み

鹿野地区の子ども達に、人を思いやるこころ、我慢する力、努力してやり遂げる力等を身につけさせる取り組みを、家庭・学校のみならず地区全体で取り組む必要があります。

当面取組む計画	**〈生活習慣を身につける家庭づくりの取り組み〉** 日々の家庭生活の中から、正しい生活習慣を身に付けさせる取り組みをすることが、学校生活、地域活動を行なう上から、今後益々大切です。 **〈情操力の向上取り組み〉** 「やってはいけないことは、やりたくても我慢する、やりたくなくても、やらなければいけないことはやり遂げる力」、「人を思いやる心」等の情操力を家庭・学校・地域が連携しながら身に付けさせる取り組みが、今後益々大切です。
長期的に取組む計画・構想	家庭生活の中で、正しい生活習慣の定着・情操力をより一層高める取り組みを、地区運動として取組むことが大切です。

基本目標　4「環境にやさしいまち」

地球温暖化の進行により、気温・海水温の上昇をはじめとした自然環境にも徐々に変化が現れてきている現代社会において、我々現代に生きる者は将来を託す子ども達に、美しい自然環境・生活環境を引き継ぐ努力をすることが必要です。

◇特に力点をおく重点事業◇

○ 農地・山林・河川の荒廃防止の取り組み

地区内の高齢化、兼業化及び生活形態の変化にともない、農地・山林・河川などに携わる人が年々減少し、山林等に手が行き届かなくなり荒廃し、美しい鹿野の原風景が失われていく事が心配され、地区全体での対応・取り組みが必要です。

当面取組む計画	**〈農地の維持管理体制づくりの取り組み〉** 農地の荒廃防止を図るために、受託組織・大規模農家の育成に、鹿野地区全体で行政と協働の取り組みを行い、農地保全を図る必要があります。また、耕作放棄地が発生しないよう景観作物・ソバ栽培等を含め、出来得る限り活用する対策を行なうことが大切です。 **〈山林・河川の荒廃防止の取り組み〉** 山林・河川の荒廃については水害等、災害防止対策上からも取り組みが必要であり、住民と行政が協働しながら必要な取り組みを行なうことが大切です。 また、河床整備とあわせて、葦刈り作業を行い、美しい河川景観づくりに積極的に取り組むことが必要です。
長期的に取組む計画・構想	美しい自然環境を大切にする心を育む活動を、子ども期から進めていくことが大切です。 集落毎に、集落営農組織の育成に努力し、地区全体での農地保全等の取り組みが必要です。



遊休農地をソバ畑へ







○ エコ活動の取り組み

地球温暖化の進行防止は、地球規模・国際社会全体で取り組む必要がある大きな課題でありますが、住民一人一人に出来る事、果たす役割も数多くあることから積極的に取組んでいくことが大切です。

当面取組む計画	**〈家庭における節電等エコ活動推進の取り組み〉** 各家庭において、家族全員が環境問題に関心を持ち生活することを心がけ、温暖化防止に参加することが大切です。 **〈ゴミ減量化対策の取り組み〉** 各家庭より排出されるゴミと資源の分別を正確に行い、適正に処理することによりゴミ減量を図り、環境対策に寄与する取り組みが必要です。
長期的に取組む計画・構想	鹿野地区においても、今後地球規模でより本格的に議論されるであろう、地球温暖化対策、国内対策に対応したエネルギー節減に、積極的に取り組む運動を進めることが大切です。

4 R 運 動

1. まずはごみの発生を避け、ごみを減らそう！

Reduce（リデュース：排出抑制）

2. 使ったモノも、繰り返し使い、使いきろう！

Reuse（リユース：再使用）

3. それでも使えなくなったモノをリサイクル！

Recycle（リサイクル：再資源化）

4. 不要なものやごみになるものは受け取らない！

Refuse（リフューズ：断る）





基本目標 5「健康で笑顔あふれるまち」

大人から子どもまで地区民がウォーキングをはじめとする、各種スポーツ活動に積極的に取り組むと同時に、毎日の食生活にも配慮しながら健康づくりに努力し、地区民全員が笑顔であいさつ、交流の出来る明るく笑顔あふれる家庭づくりが、生活の基本であり大切です。

◇特に力点をおく重点事業◇

○あいさつ運動の取り組み

幼少期から一生涯を通して、笑顔であいさつが出来るまちづくりに取り組むことが、住民同士の交流が深まり、今後の鹿野地区のまちづくりを進める上では大切な取り組みです。

当面取組む計画	**〈あいさつ運動徹底の取り組み〉** より良い家庭・地域づくりの基本となるあいさつ運動を幼稚園、小学校、中学校はじめとして一生涯を通してあいさつをする習慣づくりを、家庭、学校、地域が一体となっての取り組みが必要です。 **〈集落コミュニティ活動の取り組み〉** ややもすれば失いつつある集落コミュニティづくりとして、集落毎に夏祭り等の事業に取り組む努力が大切です。
長期的に取組む計画・構想	あいさつ運動、納涼祭等の集落内活動を継続する努力を地区全体で取組むことが大切です。

○健康づくりの取り組み

健康づくりは運動面における個々の取り組み努力と各家庭の食生活面における日々の努力により、家族の健康は守りつくられていきます。

当面取組む計画	**〈健康ウォーキング推進の取り組み〉** 日々の個人努力とあわせて、地区民のふれあいを大切にしながら、健康ウォーキングを年間通して定期的に、ウォーキングマップ活用等を通し、楽しみながら継続・実施することが健康づくりには大切です。 **〈食生活改善の普及・改善の取り組み〉** 家族の健康は食生活が大きく影響することから、幼少期から朝食摂取をはじめと、バランスの良い食生活改善に努力することが大切です。 **〈地区民皆スポーツ運動推進の取り組み〉** 地区民運動会の参加のみならず、グランドゴルフ・ペタンク・マラソン等誰でも簡単に取り組むことが出来るスポーツへの取り組み、又、地域スポーツクラブ鹿の助活動、ストレッチ、太極拳等の教室に参加し、運動とふれあい交流を図ることが健康づくりには大切です。
長期的に取組む計画・構想	高齢者の健康・生きがい対策としての、スポーツを通したふれあい交流、居場所づくりの機会及び体制を検討することが大切です。

基本目標 6「安全･安心なまち」

鹿野地区に暮らす全住民が、火災防止など防災意識の高揚を図り、災害のないまちを目指すとともに、高齢者世帯の安全、子ども達の安全確保の取り組みを強化、そして災害時における相互援助による安全確保体制の確立した地区づくりを目指す必要があります。

◇特に力点をおく重点事業◇

○ 交通安全対策の取り組み

地区ぐるみで子どもや高齢者の交通事故防止のために、交通ルールやマナーを守る取り組みをしていくことが大切です。

当面取組む計画	**〈子どもから高齢者の交通事故防止対策推進の取り組み〉** 交通安全運動期間中を中心に、街頭啓発・戸別訪問等を実施しながら安全意識の高揚を図ることが大切です。 又、危険箇所の改善について、行政・交通安全協会等と協働しながら、改善努力していく取り組みをすることが大切です。
長期的に取り組む計画・構想	機会あるごとに、年間を通して学校・老人クラブの会合等を活用して、繰り返して交通安全教育をしていくことが大変重要です。

○ 防災・防犯対策の取り組み

地震、土砂崩れ、火災などいつ起きるか分からない災害や、平穏な生活を脅かす事件等から地域住民を守る取り組みは、最優先の大切な取り組みです。

当面取組む計画	**〈集落自主防災会充実の取り組み〉** 集落毎に結成されています自主防災会の組織の再編・協力体制を強化することが必要です。 **〈災害時対応・支援計画作成の取り組み〉** 災害時には、応急対応、避難誘導、避難所運営等があり、日頃から地域の中でそれぞれの対応について協議、実践活動に必要な計画を定めておくことが大切です。
長期的に取組む計画・構想	いつ発生するか分からない災害に対し、防災意識の高揚・自主防災訓練・炊き出しの実施などに取り組んでいくことが大切です。

○ 子どもや高齢者にやさしいまちづくりの取り組み

高齢化に伴う高齢者見守り体制、子ども達が安心して通学、遊ぶことが出来る環境体制づくりが大切です。

当面取組む計画	**〈子ども見守り隊の取り組み〉** 子ども達の登下校時の見守りボランティアの確保に努め、学校、地域と連携して、地域全体で見守り・育てる活動を実施することが必要です。 **〈高齢者見守り意識づくりの取り組み〉** 高齢化にともない、認知症等による行動に対して、声かけ等による見守り・サポート意識を、地区民全員が共有していく取り組みが大切です。
長期的に取組む計画・構想	地区住民全てが、子ども達、高齢者を見守り・育てる意識を身に付ける取り組みをしていくことが大切です。





鹿野まち普請の会

事務局　鹿野地区公民館

TEL 84-2131／FAX 84-2191

この計画に関する事及び各団体活動の紹介等に関するお問い合わせは、鹿野まち普請の会事務局鹿野地区公民館までお願いいたします。